

おもてなしの心で多彩な演目を披露

●第31回婦人芸能祭



▲東北6県の祭りを、総勢200人の会員で表現した第31回婦人芸能祭

第31回婦人芸能祭(市鷹巣婦人団体連絡協議会主催・中嶋喜代会長)が11月28日、市文化会館で開催され、市民ら約600人が踊りや歌、寸劇やコーラスなどの多彩な演目を楽しみました。

中嶋会長は「31年の実績と団結を土台として、明るく楽しく元気に、この北秋田市で暮らせるように、皆さま方と手を組んで進んで参りたい」などとあいさつ。オープニングは、チーム婦団連の「東北ぐるっと夏祭り」。東北6県の祭りを総勢200人の会員が賑やかに踊って歌って再現しました。満場の観衆からは、お囃子に合わせた手拍子や大きな拍手が送られました。このあとも、各婦人団体の会員らが、踊りや寸劇など様々な演目で会場を沸かせました。

華麗なばちさばきを披露

●第20回北秋田祇園太鼓審査会



▲練習の成果を競い合った第20回北秋田市祇園太鼓審査会

北秋田祇園太鼓振興会(今立明代表)による「第20回北秋田祇園太鼓審査会」が11月23日、文化会館で開催され、会員らが日頃の練習の成果を発表し腕前を競い合いました。

審査会では、ばちさばき、力強さ、リズム感などを審査。個人の部に14組、団体の部に7団体が参加し、この日に合わせて練習を重ねた成果を発表しました。

今回は、20年目の節目を記念し、太鼓の名手「平成の無法松」と呼ばれる藤江龍夫氏をはじめ小倉祇園太鼓一行が出演し、福岡県無形民俗文化財に指定される本場の祇園太鼓を披露しました。

最後は出演者全員による百人打ちの合同演奏と合唱で勇壮なフィナーレを飾りました。

再会を喜びふるさと談義

●第24回東京ふるさと森吉会



▲ふるさと談義などで、盛り上がった東京ふるさと森吉会

第24回東京ふるさと森吉会総会(奥田庄一郎会長)が11月21日、アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区)で開催され、会員ら約110人が参加し、再会を喜びとともにふるさととの話題などで旧交を深めました。

奥田会長は「24回目を迎えるが、会員の郷土愛があつてこそと感じている。ふるさと会も合併して、北秋田市全体で開催する方向が提案されているが、その時にもぜひ参加してほしい」などとあいさつしました。

交流会では、参加者が各テーブルを回り、会食しながら旧友や知人との再会を喜び、懐かしい昔話に花が咲きました。

最後は全員で「ふるさと」を大合唱して、生まれ育った地に思いを馳せました。

イルミネーションでにぎわいを創出

●第3回北秋田きらきらフェスティバル2010



▲街をにぎやかに演出した、第3回きらきらフェスティバル

鷹巣地区の中心商店街の活性化を図ろうと企画された、第3回北秋田きらきらフェスティバル(佐藤大実行委員長)のオープニングイベントが12月11日、米代児童公園で開催され、イルミネーションの点灯式が行われました。

この日は、サンタクロースの衣装を来た会員や子どもたち約50人が鷹巣駅前から商店街をパレードしながらイベントをPR。また開会にあたり、佐藤委員長が「この活動が続け、規模を拡大し、北秋田市を明るくして、もっと楽しいイベントにしていきたい」などとあいさつ。

このあと、全員でカウントダウン。園内の樹木やSL機関車に飾られた約3万個のイルミネーションが一齐に点灯されると、会場から歓声が上がりました。

今シーズンの安全と利用客増を願う

●森吉山阿仁スキー場安全祈願祭



▲今シーズンの無事故と利用客アップを祈願

森吉山阿仁スキー場の安全祈願祭が12月9日、同スキー場で行われ、今シーズン中の無事故と利用客増を祈願することにも救助訓練が行われました。

冬季のゴンドラ運行は、新たに特定非営利法人森吉山(片岡信幸理事長)が設立され事業を引き継ぎます。

安全祈願祭は、スキー場関係者など約40人が出席し、ゴンドラ山麓駅舎で行われ、期間中の安全と冬季の観光振興の拠点となる同スキー場に多くの利用客が訪れるよう祈願しました。

片岡理事長は「通年運行することで、森吉山の魅力を最大限に活かすことができる。各種団体と協力し、頑張りたい」などとあいさつ。

今シーズンの営業は3月27日まで。

日頃の練習成果を披露

●第4回もりよし文化交流会



▲多彩な演目で来場者を楽しませた「もりよし文化交流会」

第4回もりよし文化交流会(成田陸雄実行委員長)が11月28日、森吉コミュニティセンターで開催され、大勢の市民らが歌や踊りなど多彩なステージを楽しみました。

成田委員長は「市文化祭も開催されていますが、行けない方もおり、旧町単位で交流を実施している。最後までゆっくり楽しんでほしい」などとあいさつ。

このあと、阿仁風張太鼓が勇壮な響きを披露したほか、日舞や民謡、歌やフラダンスなど日頃の練習の成果を発表し、会場からは大きな拍手が送られました。

また、ホール前には、書道や短歌、畳のへりバックなど作品が展示され、訪れた人たちは力作揃いの作品を鑑賞していました。